

文化スポーツ部

文化振興課

課長 石川 善啓

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	1810000
-----	---------	----	-------	-----	---------

事務事業名	文化振興推進事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	文化振興推進費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本市の文化芸術の振興及びそのために必要な機能向上を図るための事業等を実施するもの
市民との協働による文化の醸成を図り、市民の文化芸術活動への参画・協力の機会を増やすための事業に協力するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 文化芸術振興審議会の開催
年2回開催し、文化芸術振興基本方針に掲げる事業の進行管理と評価検証について協議(文化芸術振興審議会)
文化芸術の振興に関する事項等について審議するため設置、文化芸術活動を行う者の代表、学識経験者等8名で構成
- 文化芸術活動への支援及び顕彰
文化芸術表彰 功労賞1件
文化芸術活動において顕著な成果をおさめた個人・団体等及び地域の文化芸術振興に貢献した個人・団体等を表彰するもの
各種競技会、発表会等出場者祝金交付(10件/年交付)
各種競技会、発表会等に出場する市民に対し、祝金を交付するもの
まつもと演劇祭補助金交付
市内で活動する演劇団体の演劇祭に対して補助するもの
アーティストバンクまつもと
松本市にゆかりのあるアーティストを掘り起こし、情報を集めて公開登録アーティスト数159団体・個人
- 市民との協働事業
「まつもと街なか大道芸」
第6回目となる「まつもと街なか大道芸」を9月に開催。市民が文化芸術に触れる機会を効果的に創出し、まちの賑わいにつなげるため、実行委員会を組織し、市民ボランティアや関係係店街団体が加わり、市民と協働して事業を実施
- (一財)松本市芸術文化振興財団事務局事務
松本市芸術文化振興財団の運営に係る業務の一部委託

< 現状に対する認識 >

松本市文化芸術振興基本方針に掲げる対象事業について、PDCAサイクルによる進行管理と各事業の評価検証を実施することにより、計画的な文化芸術の推進を図ることができる。
歌舞伎や大道芸などの市民協働事業、祝金・補助金の交付、またアーティストバンクの拡充等により、アーティストの育成、活動・発表の場の創出及び文化芸術活動の推進を図ることができる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民に対する文化振興施策の推進状況を図るため(H29実績値は、調査対象が20~30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%	58.0%	調査未実施	
達成度	96.7%	90.9%	107.4%	-	
成果指標(指標名)	松本市文化芸術振興基本方針に掲げる78事業の内、目標を達成・概ね達成した事業数				
指標の設定理由	各事業の達成状況により、文化振興施策の推進状況を図るため				
目標値				60	
実績値				27	
達成度				45.0%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	25,392	26,794	17,877	7,808	9,590
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	25,392	26,794	17,877	7,808	9,590
人件費(千円)	26,915	27,324	27,180	30,042	
正規	26,915	27,324	27,180	27,360	
嘱託	0	0	0	2,682	
合計コスト +	52,307	54,118	45,057	37,850	9,590
前年度比	-	103.5%	83.3%	84.0%	-

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	音楽文化ホール管理運営事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	音楽文化ホール管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

クラシックを主とした音楽文化の振興と福祉の増進を図るため、音楽文化ホールの適正な管理運営を図るもの
また、施設の維持管理に係り、中長期的な視点から施設・設備の延命を図り、利用者の安全性及び利便性の確保を図るための事業を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 音楽文化ホール運営委員会
年2回開催し、音楽文化ホールの適正な運営について協議。第2回目はコロナウイルス感染症防止のため、書面決議とした。
(音楽文化ホール運営委員会)
ホールの適正な運営を図るため、運営委員会を設置、学校教育関係者、音楽文化団体関係者の代表、経済団体及び社会事業団体関係者の代表、学識経験者等10名で構成
- 管理運営
施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、(一財)松本市芸術文化振興財団を指定管理者とするもの
- 施設改修
安全性・利便性確保のため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行うもの
小ホール控室-5 空調機更新、配管・ダクト改修工事
非常用発電設備蓄電池設備更新工事
気中開閉器等更新工事

< 現状に対する認識 >

指定管理者により国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏の提供、県内唯一のコンサート用オルガン等を活用した演奏会や講習会の実施、また、音楽愛好団体等への活動支援や育成援助を実施し、市の音楽文化の向上に努めた。
自主事業鑑賞者数が目標に届いていないため、運営委員会から意見を伺うなど対応が必要である。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興	
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める(H29実績値は、調査対象が20~30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%	58.0%	調査未実施	
達成度	96.7%	90.9%	107.4%	-	
成果指標(指標名)	音楽文化ホール来館者数及び事業参加者数				
指標の設定理由	音楽文化ホールの有効な活用				
目標値	90,000人	91,250人	92,500人	93,750人	95,000人
実績値	74,993人	62,719人	86,742人	82,557人	
達成度	83.3%	68.7%	93.8%	88.1%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	92,594		358,639		90,757		111,960		104,600	
国・県										
利用者負担金										
その他			256,000							
一般財源	92,594		102,639		90,757		111,960		104,600	
人件費(千円)	15,380	人工	10,486	人工	10,500	人工	7,600	人工		人工
正規	15,380	2	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0	0	2,896	1	2,950	1	0			
合計コスト +	107,974		369,125		101,257		119,560		104,600	
前年度比	-		341.9%		27.4%		118.1%		-	

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	1810000
-----	---------	----	-------	-----	---------

事務事業名	鈴木鎮一記念館管理事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 公約 9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち		
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	主な取組み	OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
			5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	鈴木鎮一記念館管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

才能教育運動の創始者である、鈴木鎮一氏の住居の保及び関連資料を展示公開し、広く市民等に周知することで、文化芸術意識の広報を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 管理運営
施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、公益社団法人才能教育研究会を指定管理者とするもの
- 施設改修
安全性・利便性確保のため、施設整備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行うもの
非常照明器具修繕
- 指定管理者による事業
鈴木鎮一記念館コンサート
年2回開催(参加者189人)
歌声サロン
年8回開催(参加者418人)
事業の開催については、「広報まつもと」で周知

<現状に対する認識>

・施設の所在地が分かりにくく駐車場もないため、来館者数が減少している。
・才能教育の夏季学校に合わせた事業、近隣の小中学校へのアプローチなど効果的な周知活動の検討が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合(市民満足度調査6-3-1)				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める(H29実績値は、調査対象が20~30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%	58.0%	調査未実施	
達成度	96.7%	90.9%	107.4%	-	
成果指標(指標名)	来館者数				
指標の設定理由	鈴木鎮一記念館の有効的な活用				
目標値	5,700人	5,750人	5,800人	5,850人	5,900人
実績値	5,792人	5,743人	4,244人	3,922人	
達成度	101.6%	99.9%	73.2%	67.0%	

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,910		3,060		3,060		3,369		3,120	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,910		3,060		3,060		3,369		3,120	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	298	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	0			
嘱託	0		0		0		298	0.1		
合計コスト +	3,679		3,819		3,815		3,667		3,120	
前年度比	-		103.8%		99.9%		96.1%		-	

事務事業評価票

作成日 令和2年6月23日

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	波田文化センター管理運営事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 公約 9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標 主な取組み OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
			松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	波田文化センター管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

文化芸術活動への参画・協力意向を持つ多数の市民の要望に応えるため、波田文化センターの維持及び管理運営を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 管理運営
施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、(一財)松本市芸術文化振興財団を指定管理者とするもの
- 施設改修事業
施設の安全性・利便性を確保するため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行うもの
通路誘導灯工事
- 指定管理者による主な事業
真夏のすいか物語
はた映画上映会
来て、観て、笑って、弾いてみて、ベーゼンドルファー
事業の開催については、「広報まつもと」で周知

<現状に対する認識>

・幅広い年代の方が気軽に親しめる自主事業を新たに企画するなど、西部地域の文化芸術の拠点としての運営を目指している。
・施設の利用率向上のため、指定管理者による利用者アンケートの分析や、SNSでの情報発信回数増加に取り組んでいるが、利用率が向上しないため効果的な周知を検討する必要がある。
・施設の老朽化が進んでいることから、計画的な改修が必要である。
・利用状況等を考慮し、施設の位置づけ及び今後のあり方についての検討を進める必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民の割合から、文化振興施策の推進状況を図るため(H29実績値は、調査対象が20~30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%	58.0%	調査未実施	
達成度	96.7%	90.9%	107.4%	-	
成果指標(指標名)	波田文化センター来館者及び事業参加者数				
指標の設定理由	来館者及び事業参加者数から、施設の利用状況・充実度を図るため				
目標値	16,300人	16,600人	16,900人	17,200人	17,600人
実績値	16,560人	18,351人	15,423人	13,318人	
達成度	101.6%	110.5%	91.3%	77.4%	

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	35,898	37,975	86,610	42,209	33,330					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,898	37,975	86,610	42,209	33,330					
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	3,040	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	3,040	0.4		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	38,205	40,252	88,875	45,249	33,330					
前年度比	-	105.4%	220.8%	50.9%	-					

事務事業評価票

事務事業名	松本城世界遺産推進事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城世界遺産推進事業

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	松本城を世界遺産へ運動の推進
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	H13 ~ R9
--------	----------

国宝松本城を保護・保存し、次世代へ継承するために、松本城の世界文化遺産登録を目指す過程で、登録の前提となる国内の「世界文化遺産暫定一覧表」記載に必要な調査研究及び市民への普及啓発を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本城世界遺産調査研究事業
文化庁の審議結果に係る課題を解決するための調査研究事業 姫路城を含む国宝5城等による「近世城郭の天守群」の、シリアル・ノミネーション(連続する資産)での登録へ向けた関係県市等との連携推進
ア 近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会 (年4回実施)
イ (仮称)松本城世界遺産調査研究に係る連絡会議
ウ 近世城郭群世界遺産登録推進に係る関係県担当者会議
- 松本城世界遺産普及啓発事業
「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会における、市民と行政等の協働による普及啓発事業を実施し、松本城の現状や世界遺産登録に向けた取組み等について、市民へ広く周知
ア 子どもを対象とした松本城検定クイズ (延べ5校483人参加)
イ 35地区普及啓発事業 (延べ3地区108人参加)
ウ 松本城と世界遺産研究(中学校発表会)の実施(100人参加)
エ 松本城を観光に訪れた外国人を対象としたアンケートの実施 (1,222人回答)
第1回3市民(犬山、松江、松本)交流事業の実施

< 現状に対する認識 >
平成18年度及び19年度の文化庁による世界文化遺産暫定一覧表記載資産候補の公募から10年以上が経過しており、令和元年度には、今後、国の世界遺産に係る政策立案のため、現状・課題等に関する調査が行われた。ここ数年以内に世界遺産暫定一覧表の見直しが予想されるため、提案書提出の準備を着実に進める。

< 指標の達成状況 >

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	世界遺産推進事業に参加した人数(累計人数)					
指標の設定理由	世界遺産登録に向けた事業に参加した人数で市民の広がりを把握するため					
目標値(人)	3,000	5,000	7,000	9,000	11,000	
実績値(人)	3,054	5,261	7,475	10,064		
達成度	101.8%	105.2%	106.8%	111.8%	0.0%	
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	10,870	13,280	7,647	5,478	10,030					
国・県										
利用者負担金										
その他	10,870	13,280	8,210	5,720	10,030					
一般財源										
人件費(千円)	9,997	人工	15,180	人工	15,100	人工	15,200	人工		人工
正規	9,997	1.3	15,180	2	15,100	2	15,200	2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	20,867		28,460		22,747		20,678		10,030	
前年度比	-		136.4%		79.9%		90.9%		-	

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	まつもと市民芸術館管理運営事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

文化芸術活動への参画・協力への取り組み意向を持つ市民は多いことから、その受け皿となるよう、ニーズに則した世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する機会の増加と、市民による芸術文化創造と、その支援及び発表の推進を図る。また、本市の代表的な文化芸術施設としての機能強化と施設整備などの環境整備を進める。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- まつもと市民芸術館管理運営事業
施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、(一財)松本市芸術文化振興財団を指定管理者とするもの
指定管理期間: H30.4.1 ~ R5.3.31(5年間)
- まつもと市民芸術館自主事業実績
まつもと市民芸術館自主事業実績

年度	事業数	公演回数	集客数(人)	備考
H28年	44	110	100,261	実績
H29年	39	103	102,875	実績
H30年	36	133	45,809	実績
R元年	36	125	97,174	実績
R2年	33	-	29,180	計画

H30年度は、主ホールを4カ月間休館、R元年度は、小ホールを2カ月間休館。
新型コロナウイルスの影響で、2事業・3公演を中止しました。
- まつもと市民芸術館施設整備事業
舞台・施設設備の経年劣化及び老朽化に対応し、計画的に修繕を行うもの

<現状に対する認識>

・高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場であるとともに、市民の芸術文化創造・発表の場として位置づけられている。
・市民が親しみやすく利用できる施設ということを意識して管理運営している。
・今後も引き続き自主事業公演と貸館のバランスを考慮し、市民・利用者から理解を得られるように管理運営していくことが必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める				
目標値	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%
実績値	50.6%	48.2%	58.0%	調査未実施	
達成度	90.4%	86.1%	103.6%	-	
成果指標(指標名)	まつもと市民芸術館来館者及び事業参加者数(人)				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	212,000	214,000	216,000	218,000	220,000
実績値	251,109	267,076	199,893	256,654	
達成度	118.4%	124.8%	92.5%	117.7%	

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	481,806	520,030	435,430	443,370	446,320
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	481,806	520,030	435,430	443,370	446,320
人件費(千円)	3,845	7,590	7,550	7,600	
正規	3,845	0.5	7,590	1	7,550
嘱託	0	0	0	0	1
合計コスト +	485,651	527,620	442,980	450,970	446,320
前年度比	-	108.6%	84.0%	101.8%	-

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	1810000
-----	---------	----	-------	-----	---------

事務事業名	まつもと市民芸術館事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興	
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

文化芸術活動への参画・協力への取り組み意向を持つ市民は多いことから、その受け皿となるよう、ニーズに則した世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する機会の増加と、市民による芸術文化創造と、その支援及び発表の推進を図る。また、本市の代表的な文化芸術施設としての機能強化と施設整備などの環境整備を進める。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- まつもと市民芸術館事業費補助金交付
指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団が行う自主事業公演に対し、市補助金を交付するもの
・(一財)松本市芸術文化振興財団事業費補助金 100,000千円
【補助対象事業】
・まつもと市民芸術館自主事業 K.テンペスト2019他35事業 全36事業
(新型コロナウイルスの影響で、2事業は中止)
- 国、県及び民間補助金の活用
国、県及び民間の補助事業を積極的に取込み、指定管理者による自主事業の財源確保に努めるもの
(令和元年度実績)
・文化芸術創造拠点形成事業補助金 13,600千円
【補助対象公演】(市民芸術館自主事業名称)
・Co.山田うん新作ダンス公演(鑑賞・招聘型事業)
・NINJA(")
・ながめくらしつ・新作公演(")
・まつもと市民オペラ(教育普及・育成・市民参加型事業)
・「まつもと演劇工場」育成・体験プログラム(")
・チャオ!パンピーニ(")
・まつもと街なか大道芸(観光・地域活性化協働事業)

<現状に対する認識>

・指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団が、芸術監督をはじめとする専門職員を配置し、多様な文化芸術の提供を実施している。
・市民に安価な入場料金で高い水準の公演を提供できるよう国・民間からの補助金を活用して財源の確保に努める必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	まつもと市民芸術館来館者及び事業参加者数(人)				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	212,000	214,000	216,000	218,000	220,000
実績値	251,109	267,076	199,893	256,654	
達成度	118.4%	124.8%	92.5%	117.7%	
成果指標(指標名)	自主事案件数				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	35	35	35	33	33
実績値	44	39	36	36	
達成度	125.7%	111.4%	102.9%	109.1%	

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	118,500	113,420	109,774	113,600	100,000
国・県	13,500	13,420	9,774	13,600	
利用者負担金					
その他	5,000				
一般財源	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
人件費(千円)	3,845	7,590	3,775	3,800	
正規	3,845	0.5	7,590	1	3,775
嘱託	0	0	0	0	0
合計コスト +	122,345	121,010	113,549	117,400	100,000
前年度比	-	98.9%	93.8%	103.4%	-

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	1810000
-----	---------	----	-------	-----	---------

事務事業名	まつもと市民芸術館大規模改修事業
-------	------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興	
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館大規模改修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本市の文化芸術振興と市民自らが文化芸術を創造・享受できる環境提供を図るために設置した市民芸術館の適正な管理運営のため、新たに作成した市民芸術館「中・長期修繕計画」に基づき、開館15年目となる平成30年度から3カ年で舞台設備関係を中心に改修工事を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- まつもと市民芸術館大規模改修工事
 舞台天井及び建築付帯
 舞台照明設備
 舞台音響設備
 機械設備工事
 消防他設備
 大階段改修
 以上6工事及び工事設計・監理業務を委託
- 工期
 令和2年9月～令和3年3月
- ホール閉鎖
 令和3年1・2月(2カ月間) この間、小ホール閉鎖

< 現状に対する認識 >

・中長期修繕計画に基づき、適切な時期に改修工事を実施することにより、利用者の安全の確保とともに、施設・設備の良好な状態の維持と延命を図っている。
 ・開館21年目(令和6年度)からは第2期の大規模改修事業として、施設の構造体や外装等の改修が必要となるが、今後建物の劣化度状況調査を経て、優先度及び経費の平準化に留意していく。
 ・また、第2期では、客席照明設備、客席シート交換等、市民芸術館の顔とも言うべき設備改修も控えているので、第1期よりさらに慎重に事業進捗を図る必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める				
目標値	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%
実績値	50.6%	48.2%	58.0%	調査未実施	
達成度	90.4%	86.1%	103.6%	-	0.0%
成果指標(指標名)	まつもと市民芸術館来館者及び事業参加者数(人)				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	212,000	214,000	216,000	218,000	220,000
実績値	251,109	267,076	199,893	256,654	
達成度	118.4%	124.8%	92.5%	117.7%	0.0%

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)			1,158,270	443,720	398,170
国・県					
利用者負担金					
その他			1,100,300	421,500	378,200
一般財源			57,970	22,220	19,970
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規			3,775	0.5	3,800
嘱託			0	0	0
合計コスト +	0	0	1,162,045	447,520	398,170
前年度比	-	-	#DIV/0!	38.5%	-

国際音楽祭推進課

課長 松林 典泰

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	国際音楽祭推進課	課CD	1820000
-----	---------	----	----------	-----	---------

事務事業名	文化振興推進
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	文化振興推進費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民による企画・運営により、文化芸術活動をより身近なものにし、また同時に活動者の励みや生きがいを創出する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

楽都・まつもとライブ
 地元有缘のある音楽団体等によるストリートライブを開催
 ・通年開催(毎月2回程度)
 ・松本駅前広場のほか市内ショッピングセンター等で開催
 【令和元年度実績】
 開催回数 18回 出演者数 164人 延観客数5,718人
 ・4月29日(土) 10:00~12:30 やまびこドーム(信州花フェスタ)
 ・5月11日(土)、25日(土) 15:00~17:00 松本駅前広場
 ・6月7日(金) 18:00~19:00 総合体育館屋外ステージ
 ・6月29日(土) 17:00~19:00 イオンモール風庭3階フードフォレスト
 ・7月6日(土) 12:00~12:45 信毎メディアガーデン
 ・7月27日(土) 17:00~19:00 松本PARCO 花時計公園側入口
 ・8月10日(土) 16:00~18:00 松本PARCO 花時計公園側入口
 ・8月17日(土)、31日(土)、9月7日(土) 10:00~12:00 松本駅前広場
 ・9月29日(日) 13:00~14:00 松本城大手門枳形跡広場(街なか大道芸)
 ・10月5日(土) 15:00~17:00 松本駅前広場
 ・10月26日(土) 14:00~16:00 松本駅前広場
 ・11月23日(土) 14:00~16:00 松本PARCO 6階特設会場
 ・12月14日(土)、1月25日(土) 14:00~16:00 アルピコプラザ2階特設会場
 ・2月1日(土) 14:00~16:00 イオンモール晴庭1階きらめきコート

< 現状に対する認識 >

市民や観光客が日常的に生の音楽に触れることができ、松本が楽都であることを感じられるような継続的な事業展開が必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民に対する文化振興施策の推進状況を図るため(H29実績値は、調査対象が20~30才代のみ)				
目標値	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0
実績値	50.3	48.2	58.0	調査未実施	
達成度	96.7%	90.9%	107.4%	-	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)		570	570	570	570
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		570	570	570	570
人件費(千円)		人工 5,132	人工 5,120	人工 5,156	人工
正規		4,554	0.6	4,530	0.6
嘱託		578	0.2	590	0.2
合計コスト +	0	5,702	5,690	5,726	570
前年度比	-	-	99.8%	100.6%	-

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	国際音楽祭推進課	課CD	1820000
-----	---------	----	----------	-----	---------

事務事業名	国際音楽祭推進事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	国際音楽祭推進事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催並びに市独自事業を開催することにより、「楽都・松本」を国内のみならず世界へ発信し、ザルツブルグやタンゲルウッドに並ぶ世界的な音楽祭へ発展させる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 国際音楽祭推進事業
フェスティバルを支援し、円滑な推進を図るため、市独自関連事業の運営等を委託
- 共催負担金
フェスティバルへの共催負担金を支出
- 令和元年度実績
8月17日(土)から9月7日(土) 22日間
オーケストラ3プログラム3公演、オペラ3公演、室内楽3公演、室内楽勉強会1公演 計10公演

< 現状に対する認識 >

- 小澤芸術を求めるクラシックファンは世界各地に存在し、毎年注目を集めている。
- リピート率は高く、固定的なファンを多く有する。
- 小澤総監督の後継者とオーケストラのクオリティーの維持が課題となっており、小澤総監督の意向に基づいて公益財団法人サイトウ・キネン財団で協議するよう働きかけていく。
- フェスティバルの継続・発展も課題となっており、5年先、10年先の将来を見通した音楽祭のあり方について、松本市が中心となってその方向性を検討していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民満足度調査の調査項目(H29実績値は、調査対象が20~30才代のみ)				
目標値	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0
実績値	50.3	48.2	58.0	調査未実施	
達成度	96.7%	90.9%	107.4%	-	
成果指標(指標名)	OMFを鑑賞して、自分も音楽などの文化・芸術活動をやってみたいと思った人の割合				
指標の設定理由	松本市総合計画(第10次基本計画)の進捗管理指標				
目標値	62.0%	63.0%	64.0%	65.0%	66.0%
実績値	71.0%	77.0%	61.8%	63.1%	
達成度	114.5%	122.2%	96.6%	97.1%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	250,570	240,300	256,594	200,032	184,600
国・県	65,000	57,600	71,000	15,000	
利用者負担金					
その他					
一般財源	185,570	182,700	185,594	185,032	
人件費(千円)	25,920	20,528	20,480	20,624	
人工					
正規	23,070	3	18,216	2.4	18,240
嘱託	2,850	1	2,312	0.8	2,384
合計コスト +	276,490	260,828	277,074	220,656	184,600
前年度比	-	94.3%	106.2%	79.6%	-

スポーツ推進課

課長 大島 良司

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	スポーツ振興事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	スポーツ振興事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28 ~

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的とするもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 市主催のスポーツ教室、イベント等の開催
市内35地区対抗の市民体育大会秋季大会、春夏秋冬の競技別の市民体育大会、市長杯争奪球技大会(いずれも松本体育協会に委託)を開催した。(延べ12,000人参加)
ファミリースポーツカーニバル(松本市スポーツ推進委員協議会に委託)を開催し、「体力測定」「ニュースポーツ体験」「スポーツ教室」「障がい者スポーツ」によりスポーツに触れる機会とした。(約845人参加)
シニア健康教室、親子体操教室、ちょこっとトレーニング、健康ライフアップ運動、エアロビクス教室を延べ135回開催した。(7,586人参加)
市民歩こう運動の一環として、「気分爽快ウォーク」を9月に開催した。(31人参加)
- スポーツを通じた姉妹・友好都市との交流姉妹都市の藤沢市、交流都市の金沢市、鹿児島市とのスポーツ市民交流を実施した。(161人参加)
姫路市との交流は台風19号の影響で中止
- 市民スポーツ活動への支援
総合体育館内のトレーニング室を延べ33,773人が利用した。
全国大会出場祝金として各種競技会(ブロック大会以上)及び国体に出場する市民に対して祝金を交付した。(延べ1,324人に交付)
スポーツ推進員協議会事業をサポートし、地域のスポーツ活動を支援した。

<現状に対する認識>

市民体育大会・市長杯争奪球技大会の参加者数や全国大会出場祝金の利用者数はほぼ目標に達し、競技人口の広がり、レベルの向上は評価ができる。今後はスポーツの裾野をさらに広げるために、各種教室の他、活動しているサークル、団体を市、体育協会、企業連携等によるホームページ、SNSにより市民に紹介することで、気軽に参加できる環境をつくる。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	継続的にスポーツに親しんでいる市民の割合(あてはまる、ややあてはまる)				
指標の設定理由	市民満足度調査 = 成果				
目標値	50.2	52.6	55.1	57.5	60.0
実績値	45.1	35.0	53.6	調査未実施	
達成度	89.8%	66.5%	97.3%	-	-
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	25,513		24,049		23,740		22,510		23,000	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	25,513		24,049		23,740		22,860		23,000	
人件費(千円)	15,380	人工	15,180	人工	15,100	人工	15,200	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	40,893		39,229		38,840		37,710		23,000	
前年度比	-		95.9%		99.0%		97.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	学校体育施設開放事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校体育施設開放事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H22～H33

社会体育の振興と市民の健康増進を図るため、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を計画的に社会体育に開放

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 施設利用環境の整備
社会体育の実施に必要な器具等を整備
- 学校開放事業を円滑に進めるための取り組み
調整会議や申請書のとりまとめ等を管理指導員に委託
- 施設使用料の減免事務
登録団体は、照明使用料のみの支払い
- 事業内容
開放している小中学校 42校
開放施設 グラウンド、体育館、柔剣道場、テニスコート、講堂
開放時間
平日：午前5時～午前7時 / 午後6時30分～午後9時
土日祝：午前5時～午後9時 梓川地区は 午後10時まで
延べ利用回数 19,814回
登録団体数 362団体

< 現状に対する認識 >

- 利用団体数、登録人数は概ね目標を達成している。
- 登録団体数が例年増加傾向にあるが、各学校での調整が困難になっているため、登録数の少ない学校へ登録を促し、平等に使用できる環境にする。

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	登録団体数				
指標の設定理由	スポーツをしている市民の割合の増加に係る指標であるため				
目標値	350	350	350	350	350
実績値	339	349	357	362	
達成度	96.9%	99.7%	102.0%	103.4%	
成果指標(指標名)	登録人数				
指標の設定理由	スポーツをしている市民の割合の増加に係る指標であるため				
目標値	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
実績値	7,683	7,616	7,891	8,000	
達成度	96.0%	95.2%	98.6%	100.0%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	8,030		7,113		7,737		8,401		6,130	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,030		7,113		7,737		8,401		6,130	
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,690	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,690	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	15,720		14,703		15,287		16,091		6,130	
前年度比	-		93.5%		104.0%		105.3%		-	

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	市民生涯スポーツ振興事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち		主な取組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興		5つの重点目標	1 健康ときずなづくり
				松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市民生涯スポーツ振興事業費

<事業の狙い> 事業計画年度 H27～H32

熟年者健康スポーツ支援センター設置及び熟年体育大学を開校することにより、高齢者の体力低下の抑制や健康づくりを行うとともに、受講者同士の交流を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 熟年者健康スポーツ支援センター管理運営事業
支援センター利用者に、個人の目的に応じた健康・運動の情報や方法を提供し、体力保持・増進や生活の質を高め健康的な生活が送れるよう支援(器具を使った筋力トレ、体操などの指導)を実施
- 熟年体育大学総合体育館コース
運動・生活習慣を見直し、運動を継続することによる心身の健康・体力づくりを支援(入学資格 40歳以上 期間 2年間)
【1学年】
・令和元年度受講者 79名 年22回の講座を実施
【2学年】
・令和元年度受講者 34名 年14回の講座を実施
【講座概要】
松本大学、信州大学等の講師による健康講座やスポーツ実技、ウォーキング、体力測定、血液検査など

<現状に対する認識>

定員割れをきたしている現状から、広報活動の強化が必要
開始時と終了時の測定値(持久体力の6分間歩行)を比較したところ、改善率が目標の8割には達していない状況が続いているため、日常生活での歩数や歩行時の姿勢等について意識を高める指導内容での実施が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	熟年体育大学総合体育館コース熟大生(定員120×2学年)				
指標の設定理由	募集定員に対する受講者数 = 成果				
目標値	240	240	240	240	240
実績値	197	154	99	113	
達成度	82.1%	64.2%	41.3%	47.1%	
成果指標(指標名)	データ改善率(持久体力)				
目標値	80%	80%	80%	80%	80%
実績値	84.8%	69.2%	78.0%	74.2%	
達成度	106.0%	86.5%	97.5%	92.8%	

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	9,113	8,561	7,717	8,820	6,730					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,113	8,561	7,717	8,820	6,730					
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	16,803		16,151		15,267		16,420		14,420	
前年度比	-		96.1%		94.5%		107.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	プロスポーツ振興事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	プロスポーツ振興事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H27～H33

松本山雅FCの集客力・求心力を活かし、「みるスポーツ」等による地域振興や中心市街地への誘客に繋げるなど、プロスポーツにより地域活性化の推進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本山雅FC
パブリックビューイングの実施
中心市街地等でアウェーゲームのパブリックビューイングを5回実施(3,340人観戦)
観光・グルメマップの作成・配布
46,000枚作成し、ホームゲーム17試合でアウェーサポーターへ配布
臨時駐車場の設置
ホームゲーム17試合で新松本工業団地に約300台分の臨時駐車場を開設(延べ5,528台利用)
ホームタウンデーの実施
ホームタウン4市2町3村合同により市の施策や観光・特産品をPR
松本市・鹿児島市文化・観光交流都市デーの実施
鹿児島市と連携して市の施策や観光・特産品をPR
地域交流活動促進事業の実施
松本山雅FCへ委託し、「ファミリーウォーキングサッカー！」等を開催
- 信濃グランセローズ
「松本市民の日」の開催
市の特産品PRや市内全小学校へ無料招待券を配布
松本市野球場の優先使用
- 信州ブレイブウォリアーズ
「松本市民デー」の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
松本市総合体育館の優先使用
- VC長野トライデント
「松本市民デー」の開催
市の政策PRやバレーボール教室開催、市内全保育園・小中学校へ無料招待券配布を実施
松本市総合体育館の優先使用

< 現状に対する認識 >

松本山雅FCにより地域住民の新たな繋がりが生まれ、地域経済にも大きな効果をもたらすなど、プロスポーツが地域活性化に大きく貢献していることから、継続して取り組む必要がある。

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み	松本山雅FCを活用した賑わいの創出	
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本山雅FCパブリックビューイング(人)				
指標の設定理由	観客数 = 関心度 = 成果				
目標値	1,734	1,734	1,907	4,650	4,882
実績値	1,734	1,980	4,429	3,340	
達成度	100.0%	114.2%	232.2%	71.8%	0.0%
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	10,565		8,815		9,424		9,958		6,460	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,565		8,815		9,424		9,958		6,460	
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	18,255		16,405		16,974		17,558		14,150	
前年度比	-		89.9%		103.5%		103.4%		-	

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	負担金事業
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >	事業計画年度	H28 ~ H32
各種大会の開催により、他地域との交流を促進させ、交流人口の拡大等による地域の活性化を図るもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の事業を実施
1 第17回松本クロスカントリー大会 小学生から大人までが、距離、年齢、性別等により18種目に分かれて実施した。849人参加(内訳: 県内785人うち市内255人、県外64人)
2 第29回市町村駅伝競走大会 長野県内の市町村による駅伝競走大会(52チーム 約720人参加)
3 鹿児島市・松本市スポーツ交流事業 「鹿児島市・松本市 文化・観光交流協定」に基づき、スポーツ交流を両市で毎年交互に実施(中学生男女バスケットボール58名参加)

< 現状に対する認識 >

スポーツ大会・イベント開催等を通じた交流人口の拡大により、スポーツによる地域の活性化が図られた。
--

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本クロスカントリー大会参加者数				
指標の設定理由	参加者数 = 成果				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	899	877	885	849	
達成度	89.9%	87.7%	88.5%	84.9%	0.0%
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	7,826	4,350	6,867	4,350	7,070					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,826	4,350	6,867	4,350	7,070					
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	15,516	11,940	14,417	11,950	7,070					
前年度比	-	77.0%	120.7%	82.9%	-					

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	負担金事業
-------	-------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み		「松本マラソン」の開催
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28~

マラソンを通じた健康づくり、世代を超えた地域コミュニティの「きずな」の強化、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 第3回松本マラソン大会
日時 令和元年10月6日(日) 8時30分スタート
主催 松本マラソン実行委員会、(一財)長野陸上競技協会
共催 松本市、信濃毎日新聞社
エントリー数 マラソン(42.195km) 8,311人
ファミリーラン(2km) 315組(670人)
コース スタート:松本市総合体育館前
フィニッシュ:信州スカイパーク陸上競技場
2 実施内容
運営ボランティア参加(3,234人)・ボランティア説明会の開催
協賛企業の募集(オフィシャルスポンサー20社)
参加者募集
医療救護計画の作成

< 現状に対する認識 >

- 第3回大会は、より多くのランナーに完走してもらえるために制限時間を30分延長(6時間)にした結果、完走率は9割を超えた。
- 第3回大会の参加者アンケートにより、コースに対する不満が過半数を超えていることから、第4回大会からコースをリニューアルする予定。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本マラソン参加応募者数(人)				
指標の設定理由	参加応募者数 = 成果				
目標値		10,000	10,000	10,000	10,000
実績値		10,058	9,416	8,311	
達成度	#DIV/0!	100.6%	94.2%	83.1%	
成果指標(指標名)	松本マラソンボランティア数(人)				
指標の設定理由	募集人数 = 成果				
目標値		3,000	3,000	3,000	3,000
実績値		3,227	3,786	3,234	
達成度	#DIV/0!	107.6%	126.2%	107.8%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	22,490		91,870		88,180		93,250		95,440	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	22,490		91,870		88,180		93,250		95,440	
人件費(千円)	7,690	人工	10,480	人工	10,540	人工	10,580	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		2,890	1	2,950	1	2,980	1		
合計コスト +	30,180		102,350		98,720		103,830		95,440	
前年度比	-		339.1%		96.5%		105.2%		-	

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	補助金事業
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～H32

市民の多様なスポーツニーズを把握し、ライフステージに応じた生涯スポーツ等の推進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の団体等に補助を実施

- 1 松本体育協会
競技スポーツと生涯スポーツの普及・振興を図る松本市の総合的な体育団体である一般財団法人松本体育協会へ補助
- 2 スポーツ推進委員協議会
地域スポーツの推進等を図るスポーツ推進委員協議会へ補助
- 3 長野県縦断駅伝競走大会
都市対抗駅伝大会のため松本市チームへ補助
- 4 スポーツ少年団
青少年の健全育成、指導者等の育成を図るスポーツ少年団へ補助
- 5 スポーツ交流大会
競技団体が独自に実施している姉妹都市とのスポーツ交流大会へ補助(藤沢市開催:サッカー76名参加)
- 6 全国大会、北信越大会
松本市で開催される大会へ補助
(国際1件、全国4件、ブロック9件)
- 7 ジュニアスキー育成
青少年の健全育成、競技スキー技術の向上を図るスキー団体へ補助

< 現状に対する認識 >

各種大会、スポーツイベントの開催により、生涯スポーツの推進、競技スポーツの推進が図られている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	25,087		27,298		26,217		27,340		27,570	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	25,087		27,298		26,217		27,340		27,570	
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	32,777		34,888		33,767		34,940		27,570	
前年度比	-		106.4%		96.8%		103.5%		-	

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	スポーツ施設管理運営事業
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	スポーツ施設管理運営事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H25～R1

市内76カ所のスポーツ施設について、直営・指定管理者制度等により管理運営を行い、利用者が身近な場所で手軽にスポーツに親しめる環境を維持・整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

体育館25、運動広場21、庭球場8、プール6、野球場1、サッカー場2、その他13、計76カ所のスポーツ施設の利用受付・調整及び、施設を安全・快適に利用いただくために直営、業務委託、指定管理等により各施設の維持管理及び運営業務を行った。

- 1 体育施設予約等受付
市内大会等の予約調整会議の後、前・後期に分けて市民を対象とした予約の一斉受付を行うほか、施設の空き状況により随時利用を受付した結果、延べ2,194,198人の利用があった。
- 2 施設の維持・管理(修繕・営繕工事)
スポーツ器具、電気設備、消防設備等の修理47件
防球ネットの高上げ、給排水設備等の改修工事41件
- 3 施設の管理・清掃・保守点検等の委託
地区体育施設等について、鍵貸出し等の管理業務委託11件
清掃委託(清掃、除草他)20件
保守点検委託(電気工作物、消防設備他)26件
- 4 指定管理による施設管理
体育施設のうち、23施設を指定管理者制度の導入により管理・運営(7指定管理者に委託)

< 現状に対する認識 >

計76施設について、利用者が安全で安心して利用できる適切な管理が必要
地区体育館は、各施設とも一定の年数が経過していることから、経常的な修理や、器具・備品等の修繕については緊急性・必要性に考慮しながら、スピード感のある対応が求められている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	体育施設利用者総数(人)				
指標の設定理由	スポーツ推進計画の基本的数値目標				
目標値	2,900,000	2,900,000	2,900,000	2,900,000	
実績値	1,973,961	2,186,187	2,352,504	2,194,198	
達成度	68.1%	75.4%	81.1%	75.7%	
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	464,309		480,221		540,537		921,063			
国・県	8,050		0		0		0			
利用者負担金	86,216		83,164		86,408		79,774			
その他	14,660		11,679		14,749		108,409			
一般財源	355,383		385,378		439,380		732,880			
人件費(千円)	46,548	人工	46,328	人工	46,460	人工	45,300	人工		人工
正規	32,298	4.2	31,878	4.2	31,710	4.2	30,400	4		
嘱託	14,250	5	14,450	5	14,750	5	14,900	5		
合計コスト +	510,857		526,549		586,997		966,363			
前年度比	-		103.1%		111.5%		164.6%			

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	野球場改修事業
-------	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	野球場改修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~ R2

野球場観客席をはじめ、多くの箇所から雨漏りが生じ、施設運営に支障があるため大規模改修を行うもの(経年劣化による改修)

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	大規模改修工事 主体工事、電気設備工事、機械設備工事	150,480千円
2	大規模改修工事監理業務委託	3,780千円
3	スコアボード改修実施設計業務委託	2,970千円

< 現状に対する認識 >

- 1 屋内練習場、天井、蛍光灯具、機械設備等、雨漏りが及ぼす影響が広範囲に渡っており、改修の必要性が認められる。
- 2 スタンドの階段が劣化して崩れ、踏み外しなど観客・応援団等の利用にも影響がでている。
- 3 R2年度に大規模改修事業完了予定である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数(人)				
指標の設定理由	利用人数 = 成果				
目標値	83,283	83,283	83,283	83,283	83,283
実績値	95,386	83,535	88,658	91,009	
達成度	114.5%	100.3%	106.5%	109.3%	
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	241,802		0		13,711		157,230		1,166,800	
国・県										
利用者負担金										
その他	16,000				13,000		149,300			
一般財源	225,802				711		7,930			
人件費(千円)	2,307	人工	0	人工	2,265	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	0	0	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	244,109		0		15,976		159,510		1,166,800	
前年度比	-		0.0%		#DIV/0!		998.4%		-	

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	総合体育館改修事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	総合体育館改修事業費

<事業の狙い> 事業計画年度 H25 ~ R5

平成3年の開場から29年が経過した建物のため、施設・設備の各所に経年劣化による破損、故障等が目立ってきている現状である。多くの競技者や観客が来館する施設であり、計画的に改修を進めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1	総合体育館内装改修工事	17,460千円
2	総合体育館トイレ改修工事	
	機械設備工事	30,470千円
	電気設備工事	5,170千円
	主体工事	6,050千円
3	総合体育館空調システム改修工事	
	実施設計業務委託	8,690千円

<現状に対する認識>

県内有数規模の基幹体育施設であることから、国際、全国、北信越等の大規模大会で多くの利用者を迎える施設である。
2027年には国体会場になることが決定しており、計画的な改修が必要である。令和元年度に内装改修、トイレ洋式化が完了。今後は、空調システムの改修や吊り天井等の非構造部材耐震化工事を予定している。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用人数(人)				
指標の設定理由	利用人数 = 成果				
目標値	728,000	728,000	728,000	728,000	728,000
実績値	474,708	664,728	852,569	689,558	
達成度	65.2%	91.3%	117.1%	94.7%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	352,020	0	0	67,840	122,300
国・県					
利用者負担金					
その他	352,020			67,840	
一般財源					
人件費(千円)	2,307	人工 0	人工 0	人工 1,520	人工
正規	2,307	0.3	0	0	1,520
嘱託	0	0	0	0	0.2
合計コスト +	354,327	0	0	69,360	122,300
前年度比	-	0.0%	-	-	-

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	屋内体育施設耐震化事業
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	屋内体育施設耐震化事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~ R4

屋内体育施設の非構造部材(バスケットゴール・照明・吊天井等)の落下防止及び耐震化等の対策を講じ、利用者が安全・安心して利用できる環境を整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 非構造部材耐震化工事	
奈川木曽路原体育館(昭和61年開場)	9,537千円
四賀B&G海洋センター(平成6年開場)	616千円
寿体育館(平成2年開場)	3,608千円
芳川体育館(平成7年開場)	1,045千円
郷体育館(平成8年開場)	4,730千円
計	19,536千円

2 大規模改修工事と同時に実施した屋内体育施設	
鎌田体育館	
波田体育館	

上記7施設を令和元年度に実施

< 現状に対する認識 >

H28年度に市内29施設の屋内体育施設の非構造部材について耐震化調査を実施。計画的に非構造部材の耐震化を進め、安全・安心に体育施設を利用できるよう管理する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	整備館(数)				
指標の設定理由					
目標値	0	5	7	7	5
実績値	0	5	7	7	
達成度	-	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	非構造部材耐震化率(%)				
目標値	15	36	57	72	90
実績値	15	36	57	72	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	30,402				26,896		19,536		20,520	
国・県					10,273		5,973			
利用者負担金										
その他										
一般財源	30,402				16,623		13,563			
人件費(千円)	0	人工	0	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	0	0	0	0.0	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	0		0		28,406		21,056		20,520	
前年度比	-		-		-		74.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	波田扇子田運動公園移設整備事業
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	波田扇子田運動公園移設整備事業

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み	中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

H29 ~ R6

中部縦貫自動車道(松本波田道路)が、波田扇子田運動公園を横断する計画ルートとなっており、長野国道事務所長との移設協議に基づき、同計画の促進のため、当該施設の移設整備を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 測量業務	
概要	
移設に係る設計に必要なデータを採取するための測量事業費	
7,125千円	
2 基本設計業務(R元~R2債務負担行為)	
移設に係る基本設計 R元年度事業費	2,970千円
3 倉庫解体工事	
道路計画にある公園内の倉庫を解体事業費	1,265千円
事業費計	11,360千円

< 現状に対する認識 >

道路建設によって移設が必要となる施設について、移設先となる候補地も決まり、国との協議に基づいた移設計画を進めていく必要がある。
基本設計を進める中で、地元や庁内、国等関係機関との協議を進め、スポーツ施設として必要な整備を行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	利用人数 = 成果				
目標値	33,200	33,200	33,200	33,200	33,200
実績値	30,243	33,114	33,002	32,304	
達成度	91.1%	99.7%	99.4%	97.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	0	11,360	6,930
国・県				0	
利用者負担金				0	
その他				11,360	
一般財源				0	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	1,520
正規	0	0	0	1,520	0.2
嘱託	0	0	0	0	0
合計コスト +	0	0	0	12,880	6,930
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

事務事業名	サッカー場改修事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	サッカー場改修事業

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い > 事業計画年度 H31 ~ R4

当該施設は、長野県フットボールセンターとして位置づけられており、日本サッカー協会(JFA)の公認人工芝グラウンドである。H31年度に日本サッカー協会公認の更新時期となるが、衝撃吸収性が低く、ゴムチップ等の充填が困難な状況であることから、人工芝張替えにより、公認の取得を目指すもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 人工芝更新工事
概要
衝撃吸収性などの検査項目について、JFA公認基準に達するように人工芝の張替えおよびアンダーパッドの敷設を行うもの
工事費用 123,486千円
2 JFA規格に基づくフィールドテスト業務
概要
JFAロングパイル人工芝ピッチ公認を取得するため、日本サッカー協会の指定機関によるフィールドテストを行うもの
公認検査料 670千円
公認申請料 110千円

< 現状に対する認識 >

- 夜間利用が可能な人工芝のサッカー場は、松本市サッカー場とかりがねサッカー場の2カ所のみで、夜間、休日等の利用予約は90%超の状況。
- 昼間も少年から社会人まで幅広く利用されている。
- 今年度の公認検査には合格。次回更新はR4年度を予定。

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数(人)				
指標の設定理由	利用人数 = 成果				
目標値	64,177	64,177	64,177	改修のため未設定	64,177
実績値	59,539	62,995	61,263	48,279	
達成度	92.8%	98.2%	95.5%	-	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				124,266	0
国・県					
利用者負担金					
その他				124,266	
一般財源				0	
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				1,520	0.2
嘱託				0	
合計コスト +	0	0	0	125,786	0
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	社会体育館大規模改修事業
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	社会体育館大規模改修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H19 ~ R8

建築後一定の年数が経過した体育館の整備(大規模改修)及び、体育館利用者の安全確保を目的として、耐震補強等を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

鎌田体育館(昭和60年開場)及び波田体育館(昭和52年開場)について、老朽化部分の改修、非構造部材耐震化工事等を実施

1 鎌田体育館	
主体工事	56,870千円
電気設備工事	11,165千円
機械設備工事	6,545千円
工事監理業務委託	2,013千円
2 波田体育館	
主体工事	148,060千円
電気設備工事	58,520千円
機械設備工事	29,040千円
工事監理業務委託	3,135千円
計	315,348千円

< 現状に対する認識 >

建設から、一定の年数が経過し、劣化等による修理・改修が必要な状況となっているため、必要性・緊急性に配慮しつつ、スピード感を持って取り組む必要がある。

今後の体育館整備は、公共施設再配置計画に沿って実施

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用者数(人)				
指標の設定理由	スポーツ推進計画の基本的数値目標				
目標値	713,000	713,000	713,000	713,000	
実績値	524,111	531,630	539,162	585,289	
達成度	73.5%	74.6%	75.6%	82.1%	-
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	19,373		163,583		190,285		315,348		0	
国・県	0		14,853		4,118		19,338			
利用者負担金	0		0		0		0			
その他	0		111,182		0		296,010			
一般財源	19,373		37,548		186,167		0			
人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工	3,800	人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7	3,800	0.5		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	24,756		168,896		195,570		319,148		0	
前年度比	-		682.2%		115.8%		163.2%		-	

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	四賀運動広場整備改修事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀運動広場整備改修事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 事業の狙い >

事業計画年度 H25 ~ R1

昭和51年の開場から40年以上が経過し、経年劣化等により排水不良等の機能面の老朽化など、利用に著しい影響が見られることから、計画的に施設改修を進めるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 造成工事の継続
- 2 スタンド等改築主体工事(電気・機械設備含む)の継続
- 3 グラウンド整備、植栽工事、備品購入等に着手

【事業費内訳】

監理委託料	958千円(造成分)
監理委託料	12,882千円(建築分)
造成工事	223,618千円
主体工事	575,648千円(H30繰越分 2,330千円)
電気工事	112,654千円
機械設備工事	72,680千円
グラウンド整備	138,710千円
植栽工事	9,471千円
備品購入費	26,604千円
消耗品費	585千円
計	1,173,810千円
合計	1,176,140千円(H30繰越分 2,330千円含む)

< 現状に対する認識 >

スタンド等改築主体工事、電気工事、機械設備工事、造成工事等、全ての工事が年度内に完了した。
令和2年度の供用開始に向け、関係条例、施行規則等の整備が終了した。施設の維持管理に対する一連の契約事務等が終了し、供用開始の準備が整っている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	改修工事期間につき未設定				利用者数(人)
指標の設定理由	改修工事期間につき未設定				利用人数 = 成果
目標値					23,752
実績値					
達成度					-
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	134,080		116,718		414,278		1,176,140			
国・県										
利用者負担金										
その他	100,500		87,500		308,700		807,449			
一般財源	33,580		29,218		105,578		368,691			
人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,040	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5	3,040	0.4		
嘱託	0	0	0	0	0		0			
合計コスト +	137,925		120,513		418,053		1,179,180		0	
前年度比	-		87.4%		346.9%		282.1%		-	